

# 東町かわら版

第16号 平成24年7月10日

発行：日光東町まちづくり推進委員会  
委員長 高梨 弘志

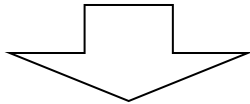
事務局：日光市 都市計画課 都市計画係

## 平成24年度推進委員会(総会)を開催しました

6月19日に開催しました推進委員会(総会)にて、平成24年度の事業計画、予算が決定しました。平成24年度予算は、収入、支出ともに予算額245,000円。主な収入として、市補助金200,000円を見込み、主な支出は事業費202,000円、広報費20,000円などとなっています。

### 平成24年度事業計画

- ・「東町かわら版」の発行
- ・推進委員会の開催
- ・公共機関との連携
- ・『日光東町まちづくり規範』のステップアップ



## 『日光東町まちづくり規範』のステップアップとは？

『日光東町まちづくり規範』の初版は、平成17年6月に完成し、それから7年が過ぎました。その間、松原町から始まった国道119号の整備も進み、門前町らしいまちづくりも少しずつ進んできました。

まちづくりの拠り所となってきた『日光東町まちづくり規範』ですが、まちづくりが進むにつれて、「ああしたほうがいい」「こうしたほうがいい」「こういうのはどうなんだろう」といった考えや、意見も多く出てくるようになってきました。

そこで、東町の有志のみなさんで作った『日光東町まちづくり規範』をさらに深化させ、ステップアップしていきたいと考えています。

そのために…

### ワーキンググループを発足させます

これから国道119号整備の始まる御幸町、下鉢石町、中鉢石町、上鉢石町の4町内から各2名、そこに公募のメンバーを加え、月1~2回程度、ワーキンググループで作業を行っていきます。

### 急募 ワーキンググループメンバー

ワーキンググループはメンバーを募集します。自薦他薦を問いません。興味を持たれた方は推進委員会までお知らせください。

<募集人員> 年齢問わず男女各1~2名(申し込み多数の場合は推進委員会で決定)

<募集期間> 7月31日(火)までに推進委員会(事務局：都市計画課 Tel21-5102)まで

現在、石屋町地区の国道 119 号では栃木県日光土木事務所による歩道の拡幅並びに電線共同溝の工事が始まっています。

推進委員会では、世界遺産「日光の社寺」の門前町としてふさわしい街並み整備と自らが誇れる日光東町のまちづくりを推進しており、東町地区は、日光市景観計画により景観計画重点区域に指定されています。景観計画重点区域においては、建築物等の「高さ」や「意匠・色彩・素材」などについての基準が定められています。

市では、建築物や工作物の新築、増築、改築等を行う場合は届出が必要となり、基準に適合する場合は必要な経費の一部を助成しています。

景観計画の中で定められている「意匠・色彩・素材」の基準は「和風を基調とし、その形態、材料及び色彩が周囲の景観と調和のとれたものとする。」となっており、具体的には、『日光東町まちづくり規範』の中で、色や形状などを示しています。

規範は、日光東町の住民がまちづくりを行っていくために取り組みたい思いや気持ちをまとめたものです。日光東町に暮らす私たちが、大切にしたいこと、守っていききたいことを共通の目標、項目として設定しています。この規範をステップアップしながら、よりよい「日光東町のまちづくり」や「街並みの形成」に活用していきましょう。

## 東町関連主要公共事業について

